

平成 27 年度第 2 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 28 年 2 月 21 日（日）午前 10 時から 11 時 30 分まで
2. 開催場所 文化センター2階 研修室 1
3. 出席者 委員 森委員、松上委員、多賀委員、森下委員、赤瀬委員、荒木委員
事務局 小松参事、長谷川副主幹、岸下学芸員
4. 傍聴者 なし
5. 議題 ①平成 27 年度事業報告 (公 開)
②平成 28 年度事業計画 (公 開)
③祝日開館について (公 開)
6. 配布資料 資料① プラネタリウム館 1 月までの来館者集計
資料② 平成 28 年度事業計画（案）

7. 会議での確認・承認事項

①H28 年度事業計画についての承認

8. 議 事 以下のとおり

事務局

事務局より、平成 27 年度 1 月までの事業報告を行う

前回お渡しした平成 27 年度事業計画に沿って、計画通りに事業を行っている。リニューアル効果によって、来館者数は、例年に比べて 1 割増となった。そのため、投映を見た方にお渡しするリーフレットが足りなくなり、旅費から流用し、1,000 部増刷した。

グラフから見てわかる通り、増えたのは一般投映来館者数。星見会は開催日に悪天候が重なることが多かった事と、例年訪れている小学校での出張観望会がなくなったことにより参加者減となった。学校での開催がなくなったのは、桜台小は、夜の行事を PTA が運営主体となり行っていたが、それが難しくなったためか。七次台小学校は、生徒の人数が増え、全体の把握が難しくなったためか。しかし、市外からの星見会の依頼は増えている。市外から依頼を受けた場合は、白井天文同好会が主となり受けている。

開館当初からの来館者数の変移見ると、大きな天文現象がある時は多い。お客様からの評価は、アンケートから、ほとんど 99%が良いとしている。

最近気を付けなければと思ったことは、投映時間等、ぱっと見で勘違いをして来館された方がいて、そのことをネットに書かれてしまった。時間の表記等わかりやすく、間違いがないよう記入するよう心掛けたい。

●●委員

ネットの書き込みに対して対策はとれたか。

事務局

勘違いで書かれているところがあり、訂正したいところだが、なにも打つ手がないのでそのままである。

●●委員	<p>今までは、学習の比率が高かったが、今年是一般が増えて、様々な年代の人に来てもらえ、大変よかった。</p>
●●委員	<p>学校の観望会が減った件に関して、実際に観望会を行った者としては、子どもたちに与える力は大きいと感じるのだが、これを職員主体で行うと、時間外やら出勤体制等で色々難しい。</p>
事務局	<p>事故が起きた時の責任等、色々難しいので、公の施設が主導となり、学校や公民館の場を借りて開催するのが良いという意見も聞く。プラネタリウムでも以前公民館や各センターで星見会を開催し、学校や公民館で配ったお知らせを見た子たちがバラバラとやってきて参加していたが、今は職員の手やお金が不足したため行っていない。市内の団体から依頼された場合のみ出張観望会を行っている。</p>
●●委員	<p>昼間に太陽観望等、学校で行うのはどうか。</p>
事務局	<p>以前やっていたことがあるが、人手が足りない。また非常勤の賃金カット等予算がないため今は行っていない。</p>
●●委員	<p>昼の観望会の人手は、どれくらい必要か。</p>
事務局	<p>出先に望遠鏡をもって2人、事務所に1人最低3人。投映が重なれば、さらに必要。</p>
●●委員	<p>千葉市立郷土博物館はキャラバン事業で出張観望会を行っていた。千葉は小学校数が120校ほどあり、年度初めに一斉に予約を受け付けた。希望日は冬が多かった。曇りの時は中止としたが、それでも年50~60件観望会を職員2人が交代で、交通費がでる程度のボランティアさんとぐるぐる回った。職員の負担は大きかったが、学校には好評であった。管理、事故の責任は学校側とし、それでも多くの需要があったのは、実際に星を見る機会がないことと、千葉は広いので、博物館で観望会を行っていても、なかなか館にはこられない子が多かった事があげられる。</p>
●●委員	<p>中学校では行わないのか。</p>
事務局	<p>行っていない。しかし、中学3年生の学習投映来館時に太陽の観望を行っている。全国的に見て、中3が学習に来るのは非常に珍しい。</p>
●●委員	<p>小学校にお知らせは出しているのか。</p>

事務局	<p>毎年、投映のお知らせと共に出しているが、担当者の目に実際入っているかわからない。</p>
●●委員	<p>星を見る会キャラバン事業を始めたきっかけは、工事のため敷地内で観望会ができなくなったことによる。工事終了後も参加者に好評であったため、キャラバン事業は継続することになったが、職員の負担が大きく、あえて要望がなければ、行う必要はないと思う。</p>
事務局	<p>そう思う。しかし、実際の星を見た時の効果は抜群である。</p>
●●委員	<p>月や太陽であれば昼に見られるのだから、授業で1時間ぐらい使ってうまく組めば観望会が行えるのではないか。職員の人員のことが出たが、時間のスケジュールをきっちり組めばできるのではないか。</p>
事務局	<p>お金があればできる。 また、学校の観望会はイベント的な要素も強く、夜にみんなでやるから盛り上がる。観望会にだけこだわるのなら、白井では毎月1回観望会を行っているのだから、館の観望会に参加すればよい。</p>
●●委員	<p>千葉での観望会は、なるべく職員の負担が少ないよう、望遠鏡の運搬も先生にいただいた。効果があるのはわかっているのだから、やるかやらないかは、先生の熱意であるし、授業に組み込むのも指導課で決めることである。こちらは提案するだけであって、決めるのは学校とするのがよいのではないか。</p>
●●委員	<p>白井市の教職員は星に対する意識は高いと思う。その気持ちは子どもたちにも伝わると思う。そして、このようにプラネタリウム職員と顔を合わせることもよっても紙だけでは伝わらない熱意が伝わると思う。このような、顔と顔を合わせて、色々提案する営業活動を、職員の負担にならない程度に、余力ができたならプラネタリウムの活動に1つに加えてほしい。</p>
事務局	<p>そのとおりで、先生の関心の高い学校とそうでない学校の子供たちは違う。先生の関心が高いと、投映を見た後も継続して高い関心を持ち続けることができるが、そうでない場合は、義務的にプラネタリウムに来館して、投映を見た後、それで終わってしまう。 学校教育課と相談し、担当学年の先生の研修会のようなものを夏休み中でもできたらと思う。</p>
事務局	<p>事務局より来年度の事業計画について説明を行う 配布した2016年事業計画にそって、新しい投映機の機能を生かしつつ、「惑</p>

	<p>星」をテーマに投映を組んでいく予定。来年度は、全体の予算は増えたが、それはリースと保守点検料。番組委託料はすべてカットになった。</p>
●●委員	<p>今、人口が増えている流山市では、保育園の送り迎えも市が行うなど、子育て支援を熱心に行っている。白井市の子育て世代定住プロジェクトもとても良いと思う。娘が子育て世代だが、ひよこプラネタリウムに来てみたいといっている。星を通してママ友ができる手助けができるとう良い。</p>
事務局	<p>投映を見た後に、来館者同士が友達になれるもうひと押しが欲しいのだが、なにか良い案はないかと考えている。投映後に一緒に食事ができるように投映終了時間を昼に設定したりはしている。</p>
●●委員	<p>ひよこの内容は毎回違うのだから、案内に内容も入れたほうがよい。幼稚園の保育ルームもそうだが、毎月参加する人もいれば、内容をみて参加を決めている人もいる。お友達を誘う時も、内容がわかると誘いやすくなる。</p>
●●委員	<p>2階の喫茶室と連携できると良い。</p>
事務局	<p>チケットで割引が効くなど、そうしたいところだが、こちらから協力できることも考えなくてはいけない。</p>
●●委員	<p>チケットや、リーフレットの中に会話のきっかけや、一緒に見せると割引になるような仕掛けを作るのはどうか。また、お互いの子供の誕生日がわかると、できるゲームを考えてもよい。</p>
事務局	<p>皆様のご意見参考になった。</p>
事務局	<p>事務局より祝日開館について説明を行う 来年度から祝日開館となり、さっそく子供の日には子供イベントを企画している。イベントのない祝日は、職員2人なので、どちらかがでて、代休を取ることになる。</p>
●●委員	<p>なぜ祝日開館にしてしまったのか。</p>
事務局	<p>図書館や文化開館での要望があり、それに合わせて、文化センター全体で開館となった。</p>
●●委員	<p>子どもイベントの対象年齢はどれくらいか。</p>
事務局	<p>小学校中学年以下ぐらい。</p>

	先ほどいただいた、ゲームや意見を取りいれてみようと思う。
●●委員	中学の部活動で、敬老の日や、夏休みなどにもボランティア活動しているので、子供の日にもお手伝いできるのではないか。
事務局	準備段階から手伝ってもらうことは可能か。
●●委員	顧問の先生に聞いてみないとわからない。
●●委員	天文同好会もボランティアとして使ってほしい。物作りはみな慣れている。
事務局	協力していただけるとありがたい。 月曜は祝日でも休みなので、間違いがないように祝日開館については市民の皆さんにきちんと周知する。
●●委員	学校で土日の行事の振替を月曜に行うと、月曜は閉館している場所が多いので困るというご意見もある。
事務局	月曜休館の施設が多いので、月曜に館を開けると、お客が来るという場所もある。しかし、メンテナンスの点でも月曜休館は必須。
●●委員	プラネタリウム館事業、祝日開館について意見はないか。
一同	ない。事業について承認する。
●●委員	その他意見はないか。
●●委員	天文同好会は何人ぐらいで、どのような活動をしているのか。
●●委員	7人ぐらいが定期的に活動し、プラネタリウムの観望会を手つだっている。市外からの観望会の依頼は天文同好会が主で受け、自分たちの望遠鏡を持って活動している。今年は印西や酒々井などから普段より多くの依頼を受けた。望遠鏡の使い方がわからな人へのレクチャーなども受け付けている。
	以上